

広報誌かしの木

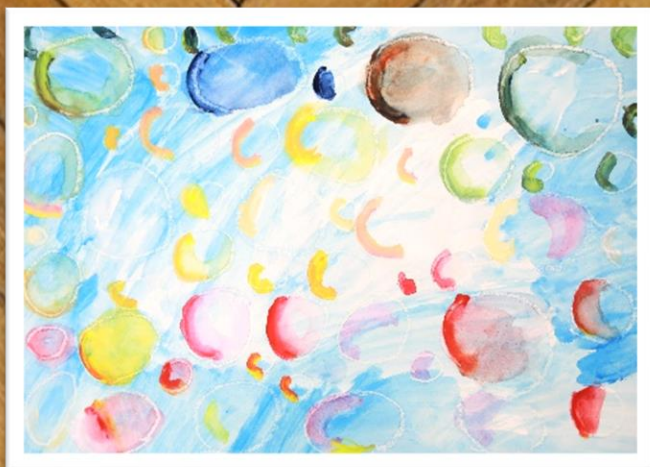


29号

かしのきアート展 2021

社会福祉法人
せたがや樫の木会

2021年7月発行



下馬福祉工房 佐藤ライカジェリンさん



下馬福祉工房 味内健人さん

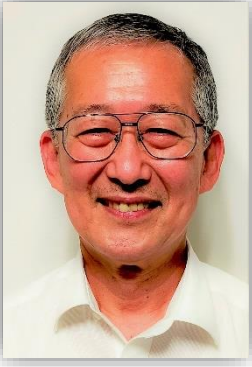


下馬福祉工房 湯山猛洋さん



下馬福祉工房 牧野亜里沙さん

「令和 3 年度に向けて」



令和 3 年度が始まり、引き続きコロナウイルス感染症の緊急事態宣言が出されている中ですが、東京都や世田谷区のご指導があり、利用者の皆様、ご家族の皆様の助けをもちまして、各事業所において感染者は最小限に抑えられているところです。職員の皆様においても頻りに社会的検査を受けることや所内消毒など感染防止に努めていただき感謝しております。ワクチン接種も高齢者から進みつつあります。少しでも早いコロナウイルスの収束を願うものです。

さて、令和 2 年度のまとめの時期となり、会計書類及び事業報告等を理事会、評議員会で協議していただいているところです。令和 2 年度は丸 1 年間は新型コロナウイルスの感染症により、これまでとは異なる年となりました。各事業所とも人が集まる行事、移動を伴う行事等が制約され、工夫をしながらのプログラムを構成しての活動を行いました。また、ICT 機器を活用しての支援や動画配信、イベントの工夫も見られました。法人の会議運営、研修等においても ICT 機器は活用することができました。このようなオンラインでの取組の良さを確認しつつ、コロナ禍で工夫されたことの良さを今後に生かしていくことが大切だと考えます。

しかし、B 型就労継続支援事業を行っている事業所では、自主生産品の販売が進まず、売り上げが落ち込んでしまいました。結果として工賃が減少してしまったことは残念なことです。

令和 3 年度の取組ですが、4 月 1 日より区立松原けやき寮の運営が始まりました。それに伴い、より良いサービス提供を行うため世田谷区のほぼ中心にある梅が丘駅近くの松原けやき寮の中にヘルパーステーション桤の木を移転しました。連絡先等が変わっておりますのでご確認ください。

今年の法人としての新たな取組として、アートへの活動、アートを通しての社会参加を目指していきます。また、併せてネットショップの開設への取組を進めてまいります。その都度お知らせしてまいります。皆様にはご期待いただければありがたいと思います。法人としては、これまで通り権利擁護の取組を行ってまいります。今年度からは特に虐待防止について、職員で研修し、日常の支援に生かしてまいります。

終わりになりましたが、これまでヘルパーステーションがありました本部の建物の改修が終了し、リニューアルオープンとなりました。現在の状況では多くの皆様においでいただきご覧いただくわけにはまいりませんが、ちょっとした会合に使用できる会議室もあります。建物を寄贈して下さった脇坂様への感謝を込め、脇坂会議室とさせていただきます、お近くへお越しの節は是非ともお立ち寄りください。

話は変わりますが、学校設置基準というものがあり、学校の学科、学級の人数、諸君等の数、施設・設備等の基準が定められています。小学校等の設置基準は平成 14 年に定められていました。特別支援学校設置基準がようやく検討され、令和 4 年 4 月から施行される予定です。養護学校の義務化は昭和 54 年と 32 年遅れ、設置基準はなんと 20 年が経った後に制定を見ました。教室不足の解消が図れることを期待したいところです。

理事長 岩井 雄一

法人新事業のご紹介と施設長就任のご挨拶

●松原けやき寮 施設長 紀平訓江

令和3年4月より東京都手をつなぐ育成会からバトンを受け継ぎ世田谷区立松原けやき寮「以下、けやき寮」をせたがや榎の木会が運営していくこととなりました。

昨年の広報誌にはわくわく祖師谷の福施設長としてご挨拶させていただいたのですが、今年度はけやき寮の施設長としてご挨拶させていただくことになりました。私にとっては入職から4か所目の勤務場所となり、榎の木会の中でたくさんの利用者さんと職員の方との出会いが大きな財産となっています。

けやき寮の指定管理者変更は区内で初の試みとなりました。新規オープンとは違い、1月から引継ぎを開始し、4月1日に運営法人と支援者が入れ替わる余裕のない事業開始となりました。

育成会が行っていた支援を引継ぎ、どんぐりホーム上町でのノウハウを活かしながら入居させている利用者さんに混乱のないよう支援をスタートしています。

地域で生活をしていくことを目指した生活自立訓練は古くからある事業であり、課題も多くあります。長年この仕事に携わってきた私には最終章になるかもしれません。

誰もが願う住み慣れた地域で暮らしていけるために、けやき寮の生活体験をより良い時間にしていける運営に努めていき、卒寮した利用者さんと地域で生活する一員としてお付き合いできるような関係を築いていけたらとも思っています。

コロナ禍のため開所式も簡単な顔合わせ会程度となってしまう非常に残念ではありますが、お披露目できる時期が来ましたら、多くの方に、せたがや榎の木会のけやき寮を見に来て頂きたいと思っています。



帰寮後は職員と手紙や書類の確認をすることもあります。

食堂と広く長い廊下はお掃除ロボット「ブラーバ」がいつもきれいに拭き掃除をしてくれます。

3名まで入れる大浴場ですが今は1名ずつ入浴しています。

3密回避食事はアクリル板を使用して交代で食べています。

●ヘルパーステーション檜の木に移転と新たな使命

令和3年4月から、法人が区立松原けやき寮の運営を受託するにあたり、ヘルパーステーション檜の木を松原けやき寮のフロア内に移転いたしました。

法人では、知的障害者とその家族が地域で自立して生活が続けられるよう支援サービスの充実を図っていくためには、通所やグループホームなどの施設サービスとともに、ヘルパーステーション檜の木の事業を拡充することが重要であると考えています。

法人が運営する施設サービスとヘルパーステーションで提供できるサービスを組み合わせることで、利用者一人一人の地域での活動に広がり期待でき、自立への一助になるという理由があります。

居住系施設と訪問・移動系の事業所を同一建物内に置いて、それぞれの業務を相互に連携を取り合いながら進めることにより、利用者への適切なサービスの提供を通じて、地域で暮らしやすい環境づくり（社会参加の促進）に寄与できることにあります。

例えば、松原けやき寮で生活体験をしている方に対して、土日の余暇支援のためのヘルパー派遣などにより信頼関係を構築し、退寮後にもヘルパーを利用しやすい環境を継続することで、利用者の余暇支援から一人暮らしのための生活支援まで、幅広いサービスの提供が可能になります。また、短期入所を利用する方に対しても、送迎のヘルパー派遣サービスなどが利用しやすくなっています。

ヘルパーステーション檜の木では、利用者に加えて家族を対象として、介護保険サービスの提供についても検討をしています。利用者及び家族の高齢化問題に対応していくためにも、地域で在宅生活が継続できるサービスの提供が必要と考えています。

利用者とその家族への様々な支援サービスを充実していくためには、法人が提供するサービスの連携・強化と、現場でサービスを担う人材育成が重要になります。

法人では現在、世田谷区と協力して知的障害者移動支援従業者養成研修などを実施して、区内在住者の知的障害への理解と資格取得を促しておりますが、法人が展開する施設サービスに従事する職員についても、ヘルパーステーションで提供するサービスへの理解を進めるなど、この度の松原けやき寮の新規受託を契機として、これまで以上に研修や職員の交流機会の充実など、人材育成に力を尽くしてまいります。

法人からのお知らせ

法人中長期計画（10年）策定について

法人では、中長期の展望のもと計画的に経営を推進し、組織基盤を強化していく必要があると考えております。知的障害者とそのご家族を取り巻く状況及び国・東京都並びに世田谷区の障害福祉施策の動向などを踏まえながら、法人のこれからの10年の目標・課題を明らかにし、法人が掲げる理念の実現に努めていくことといたします。

利用者とそのご家族のニーズを踏まえ、法人が取り組む目標を明らかにすることにより、だれもが地域で暮らし続けられるよう多様なサービスが提供できる経営をさらに進めていくことを目的に計画を策定します。

10年後の法人のあるべき姿を明らかにしていくためにも、その前提となる法人の経営基盤の強化が強く求められるところです。様々な課題が山積する状況のなか、令和3年度の事業計画では、以下のとおりとしています。

【令和3年度法人本部事業計画】より抜粋

- （1）今後10年をかけて計画的に取り組む経営目標や個別課題について検討する組織の立ち上げ
- （2）当面3～5年程度を見通した中期的な課題について整理を行い、各種委員会活動を中心に具体的な取り組みを推進していく。

法人では、平成30年度に法人の中長期計画の策定に向けて、目標や課題などの整理を進めてき経緯があります。しかし、それ以降、社会福祉法人の経営や事業を取り巻く状況も大きく変化してきています。

当法人においては、計画の内容について継続的に検証する取り組みとなっていなかったなど、反省すべき点がありました。

法人は、令和4年に設立20年の節目を迎えます。このことを契機として、中長期計画の策定を目指すこととし、理事長の下命を受けた施設長有志などで構成する法人中長期計画策定プロジェクトチーム（略称「経営企画部会」という。）を立ち上げ検討を進めていきます。

上記の経営企画部会での検討内容については、随時「経営企画会議」に報告することとします。経営企画会議での議論を踏まえながら、中長期計画(案)を作成し、理事会及び評議員会を経て、成案としていく予定です。

本部改修工事が無事に終了しました

老朽化していた本部建物の改修工事が無事に終わりました。事務所としての利便性を追求し各階を1フロアにしております。1Fは遺贈者の脇坂さんのお名前を付け「わきさか会議室」としました。研修や会議、絵画展など幅広く活用していきたいと考えております。



寄付金・寄付物品のご報告

《リーフレットによる寄付金報告（令和3年1月～令和3年5月）》

匿名の方3名

総額 170,000 円

《その他寄付金報告（令和3年1月～令和3年5月）》

北沢優甲会様	50,000 円
中原容様	40,000 円
第一生命様	50,127 円
世田谷サービス公社様	78,130 円
荻島由真様ご家族様	300,000 円
匿名3名	360,000 円



総額 878,257 円

皆さんの暖かいご寄付、ご支援に心より感謝申し上げます。

頂いた寄付金につきましては今後の法人経営に役立ててまいります。

理事長 岩井 雄一



職員人事のお知らせ



○職員の異動・昇任（令和3年4月1日付）

〔管理職〕

松原けやき寮	施設長	紀平訓江
千歳台福祉園	4等級昇格	山本吉輝
わくわく祖師谷	4等級昇格	徳田智子
千歳台福祉園	2等級昇格	大場雄太
わくわく祖師谷	2等級昇格	安野孝子

〔一般職員〕

下馬福祉工房	支援員	青山雪子
わくわく祖師谷	支援員	西山友理
わくわく祖師谷	支援員	和多田陽
わくわく祖師谷	主任	渡辺了一
用賀福祉工房	主任	下國君子
プレイ&リズム希望丘	主任	松本憲行
相談支援センターあい	主任	寺本梨沙

○新規採用

（令和3年2月1日）

千歳台福祉園 支援員 前田康信

（令和2年4月1日付）

松原けやき寮 支援員 浅野朋子

わくわく祖師谷 支援員 北見ミホ

（令和3年5月1日）

千歳台福祉園 支援員 鈴木ゆきえ

わくわく祖師谷 支援員 小野亜紀

○退職者

〔一般職〕

（令和3年3月31日付）

わくわく祖師谷 支援員 中村さやか

（令和3年4月30日付）

千歳台福祉園 支援員 加藤臨太郎

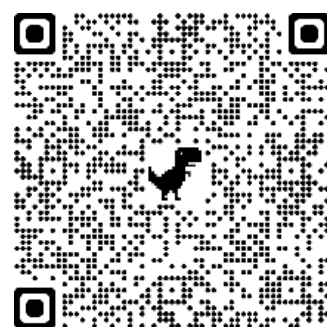
令和2年度決算報告

令和2年度の事業報告、決算が理事会、評議員会において承認されました。決算書類は法人HPにて公表をしておりますので、ご覧ください。

令和2年度は、コロナ禍の影響がとても強い決算となりました。残念ながら就労支援収入が大きな減額になりました。コロナ禍により受注作業が減少したことに加え、各所で製造している自主生産品を販売する貴重な機会であり事業所祭りの中止、行政主催の販売会の中止などが相次ぎ、販売機会が減少した影響が表れています。

通所自粛などが求められた障害福祉サービス等利用収入は在宅支援の提供が認められたことにより大幅な減少にならずに済みました。

就労支援収入の減収は、利用者さんの工賃に直接関わってくるものです。令和3年度は、各所落ちてしまった就労支援収入を戻すために新たな取り組みを始める事業計画を作成し取り組んでおります。QRコードを載せますので、詳しくは法人HPにてご確認ください。



編集後記

令和3年度がスタートし4月25日に発令された3度目の緊急事態宣言は、短期集中で人流を抑制することを目的に、都や区が主催する行事毎の殆どは中止となり、5月に開催が予定されていた高島屋オムニバス展も2年連続の中止となってしまいました。

今号では出展予定であった各施設の作品をご紹介します。国内ではワクチン接種も進んできておりますし、秋の障害者アート展では、実際に作品を鑑賞できる日が来てほしいものです。広報担当 島澤

かしのきアート展 2021



喜多見夢工房 「にじ」



喜多見夢工房 「フルーツミックス」



喜多見夢工房 「僕の行ってみたいところ」



喜多見夢工房 「仲間」



上町工房 「いろんな気持ち」
曽根香奈子さん



上町工房 「いちご」
津久田徳秀さん



上町工房 「カタツムリ」
原誠也さん

生活介護の皆さん
わくわく祖師谷「つゆのけしき」
千歳台福祉園「夢見る宇宙」



編集発行：社会福祉法人せたがや榎の木会 理事長 岩井雄一

155-0033 東京都世田谷区代田 1-29-5 TEL 03-5481-1010 FAX 03-6805-2101

Mail setagaya-kasinokikai@poppy.ocn.ne.jp HP <http://kashinokikai.net/>